

寅卯天中殺

寅卯天中殺は、六つある天中殺の星のうちでも、一番エネルギーも大きいし、スケールも大きく、非常に強い前進力のエネルギーをもっています。

それだけに一般的に考えられる寅卯天中殺の人の性格は、良くも悪くも度胸がよい、思いきりがよいというところにあるでしょう。寅卯天中殺の良さは、内よりも外へそとへと発揮されていく傾向があるという面でしょう。(俗にいう、「外面のいい」方なのです。たとえば、人とつき合うにしても、会ったとたんに、十年来の知己のように打ち解けてしまうといった面があります。どんな人とも「3分話せば、お友達。5分話せば親戚づきあい」といったつき合い方をします)それだけに、ネアカな性格の人が多く、ものごとの先を心配して細かく詮索したり検討するのは苦手なのです。大ざっぱな見通しだけで、大計画を実行に移しかねません。

多少用心深さに欠ける面もありますが、人からは大変好かれるタイプの人が多く、こういう性格や特質は、組織のサラリーマンやOLとしても勿論いいでしょうが、それ以上に、スケールの大きさを活かすという意味では、政治家や実業家にむいている資質と申せましょう。

この天中殺は、だいたい、30代、40代、50代、という働き盛りの中年期にぐんぐんと運勢が上がる人といつて良いでしょう、しかし、その時期に全勢力を集中的に燃焼させるものですから、体力の落ちる晩年期になると、自分の体力や健康が思うようにならなくて、いらつくなることが多いかも知れません。(寅卯天中殺というの、非常に強い前進力のエネルギーを持った星だと申しましたが、それは、コツコツ歩一步積み上げると違って、ブルドーザーで、しかも、エンジン全開で突っ走るような迫力……と思って下さい。一気にワーッと事を成し遂げるだけの迫力があるのがこの天中殺の特色なのです。かつてコンピュータつきブルドーザーといわれた田中角栄元首相、それと金丸信元議員もこの寅卯天中殺なのです。)

戌亥天中殺の人との人間関係

寅卯天中殺にとって、戌亥天中殺というのは、ワーッと一気に寅卯天中殺を発展させてくれる相手と思っていいでしょう。

とくに、戌亥天中殺が仕事上での上役とか目上、得意先というような関係ですと、文句なく、引き立ててくれるし、ひいきにしてくれる。……

その引き立て方も、午未天中殺のように、ゆっくり、着実にという関係でなく、中央欠落の戌亥天中殺は、一気に、嵐のように集中的に引っ張ってくれる関係になります。

スピード感のある寅卯天中殺にとっては、その意味で非常に満足感の高い相性といつていいと思います。

(俳優の渡哲也さん【寅卯】と亡くなった石原裕次郎さん【戌亥】の関係は、まさにこの天中殺の関係をよくしめしています。石原プロを支えた二人の、互いを引き立て合った間柄はよくしらされているところです。)しかし、その代わり、残念な事ですが、その引き立て方というのは長続きしません。

三年とか5年とか、集中的に引き立ててはくれるけれど、あるとき、ふっと途切れてしまいます。

延々とつき合いが続くというのではなく、短いのです。(石原裕次郎さんの死という形で終わった二人の関係も、なにか天中殺の宿命を感じないわけにはいきません。)一旦途切れ、また、何年かしてふと前のように戻る……というようなことはよくあります。

密接な関係が続きにくい、間があくということです。

戌亥天中殺というのが、だいたい神経の働き方が短期的に集中するタイプですから、物事に対する熱中度とか人間関係も、密度濃く、短期的に集中するのです。

寅卯天中殺にとって、戌亥天中殺は相性はとてもいいけれど、全面的に信頼していると怖い……というところはあります。

こういう引き立て方は短期的だということをよくわきまえて付き合えば、非常に有利な関係をつくれる相手です。(なにしろ、瞬間に発展してくれるから有難い相手です。)

ところが、これが恋人とか身内という関係になると、ちょっと困ります。

ある時期だけ熱中されて、ふっと間があくなどという関係は一番まずいわけですから……。

また、こういう親子関係もあまり安定的とは言いにくい面があります。

ところが、寅卯天中殺と戌亥天中殺とが結婚すると、互いの天中殺が作用しあう結果、非常に複雑な運の逆転が生じます。

つまり、寅卯天中殺と結婚する事で、戌亥天中殺はそれまで育った家、歩いてきた人生と正反対の方向へ転じていくのです。

たとえば、戌亥天中殺お金に恵まれ、成功者の家庭に育ったとすると、寅卯天中殺と結婚したことで、比較的庶民的な暮らしかたになっていくことになります。

これとは反対に、それまであまりお金に恵まれなかったり、親の社会的地位も高くなかったということなら、結婚と同時に恵まれた生活への道を歩き出すという関係になるのです。